

3

One day, when a lion was taking a nap in a grass field, a single fly flew towards him.

"Hey lion! I'm not scared of you at all. I'm far stronger than you are!!"

"What? What are you saying?"

The fly buzzed around the lion's head, who ignored it and looked away.



5

"What's so amazing about you? All you do is just scratch with your claws and bite. Even humans can do that! Hey, why don't you have a match with me!?"

"That's ridiculous. Just get out of my way."

The lion got annoyed at the noisy fly and tried to drive it away using his paws and tail, however, the small fly easily dodged the lion's attacks.



あるひ、そうげんで ひるねをしていた
らいおんの もとに、
いっぴきの はえが とんできました。

「おい らいおん！

おれは あんたの ことなんて
ちっとも こわくないぞ。

おれは あんたより、

ずーっと つよいからな！！」

「なんだ、おまえは。なにを いうている」

あいてにせず、そっぽをむく

らいおんの うえを、

はえは ぶんぶんと

やかましく とびまわりました。



「あんたの なにが すごっていうんだい。
あんたは つめで ひっかいたり、
かみついたりする だけじゃないか。
そんなの にんげんだって できるぜ！
どうだい、おれと しょうぶしないか！？」
「ばかばかしい。じゃまだ、あっちへ いけ」

うるさくて いらいらしてきた
らいおんは、あしや しっぽを つかって
はえを おいはらおうと しましたが、
からだの ちいさな はえは
ひよいひよいと にげまわります。

